

【参加報告】

第 23 回アジア学術会議（23rd SCAC）の Young Researcher's Session にて講演、諸外国の研究者らと意見交換しました。

2024 年 11 月 30 日－12 月 2 日に第 23 回アジア学術会議（The 23rd Science Council of Asia Conference）がバングラディッシュのダッカで開催され、若手アカデミーからは門田有希連携会員が参加し、Young Researcher's Session にて講演を行いました。

アジア学術会議（SCA：Science Council of Asia）は、アジア地域の各国アカデミー等で構成される国際学術団体で、現在、日本を含めた 18 개국・地域の 31 機関が加盟しています。今回の会議のテーマは、「Forth Industrial Revolution and Future Society」であり、人文・社会科学から自然科学・工学まで多様な分野の研究者が講演を行いました。気候変動や量子、科学技術、食糧問題、創薬など様々な分野の講演の他、今後人類が直面する課題に対して科学技術がどのように貢献できるかについてのパネルディスカッションも行われました。

Young Researcher's Session において、門田有希連携会員は、世界人口の増加や地球規模で起こっている気候変動、そして食料問題などの課題に農学分野がどのように貢献できるか、また農学分野における技術革新や最新の研究成果などについて紹介しました。講演後は活発な質疑応答・意見交換が行われ、国際的なコラボレーションの可能性も言及されました。

